一生涯のパートナー
第一生命
第一生命 年金通信
特別勘定☆NEWS
No.2016－2
第１号

2016 年 4 月 1 日
特別勘定運用部

特別勘定第 1 特約総合口
2016 年度長期･短期基本ポートフォリオについて

特別勘定第 1 特約総合口の長期基本ポートフォリオおよび短期基本ポートフォリオにつきましては、毎年度、見直しの検討を行っております。2016 年度につきましては、以下のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

○長期基本ポートフォリオ

2015年度

	① ウェイト	期待収益率
国内債券	32%	0.85%
国内株式	25%	6.30%
外国債券	13%	2.25%
外国株式	25%	7.50%
短期資産	5%	0.25%
合　計	100%	4.03%

2016年度

	② ウェイト	期待収益率	②-① ウェイト変化
国内債券	32%	0.80%	-
国内株式	25%	6.30%	-
外国債券	13%	2.10%	-
外国株式	25%	7.30%	-
短期資産	5%	0.25%	-
合　計	100%	3.94%	-

○短期基本ポートフォリオ

2015年度

	③ ウェイト
国内債券	26%
為替ヘッジ外債	3%
国内債券計	29%
国内株式	31%
外国債券	11%
外国株式	23%
アジア新興国株式	2%
外国株式計	25%
短期資産	4%
合計	100%

2016年度

	④ ウェイト	④-③ ウェイト変化
国内債券	24%	▲2%
為替ヘッジ外債	6%	＋3%
国内債券計	30%	＋1%
国内株式	30%	▲1%
外国債券	11%	－
外国株式	24%	＋1%
アジア新興国株式	2%	－
外国株式計	26%	＋1%
短期資産	3%	▲1%
合計	100%	－

※　長期基本ポートフォリオは 10 年程度、短期基本ポートフォリオは 1 年を前提としております。

(1) 長期基本ポートフォリオについて
- 各資産のウェイトは、昨年度から変更ありません。
- マーケット環境に鑑み、国内債券、外国債券、外国株式の期待収益率を引き下げました。

(2) 短期基本ポートフォリオについて
- 市場見通し等を踏まえ、国内債券、短期資産から為替ヘッジ外債にウェイトを一部シフトしました。
- 長期基本ポートフォリオとの乖離や、市場見通し等を考慮し、国内株式から外国株式にウェイトを一部シフトしました。

（参考）当面の市場見通し

- 内外株式は、米国の利上げ、原油価格の下落等の影響を確認しつつ、ゆっくりと戻りを試す展開を予想しています。
- 内外金利は、雇用・所得環境が改善しつつある一方、インフレ期待は低く、原油価格下落や新興国の景気低迷から景況感の急回復は見込み難く、低位でのレンジ推移が継続する見通しです。
- 為替は、米国の利上げスピードが緩慢となる可能性が高まり円安基調が一服する一方で、日欧当局は引き続き追加緩和を模索する状況にあり、レンジ推移が長引く公算です。

※ 見通しは随時変更となる可能性があります。

以　上

次ページの「特別勘定特約に関する重要なお知らせ」についてよくお読み下さい

特別勘定特約に関する重要なお知らせ

※本お知らせは保険業法第300条の2に準用される金融商品取引法第37条に基づき、特別勘定特約に関して表示すべき広告等規制に関して記載するものです。

【手数料について】

・特別勘定特約に関する手数料（付加保険料）は、当社が引受けるご契約者の年金資産（責任準備金）のうち特別勘定部分の経過責任準備金を各口ランクごとの金額に分け（円貨建株式口は1型・2型を通算）、それぞれに所定の手数料の率を乗じて得た金額の合計額を毎年ご負担いただきます。

・以下の手数料率表については、経過責任準備金ランクの上限および下限のみ記載しております。

■手数料率表

●確定給付企業年金保険 ●厚生年金基金保険（Ⅱ）	総合口	第2総合口	債券総合口	円貨建公社債口	円貨建株式口1・2型	円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型	外貨建公社債口	外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型	外貨建株式口	外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型	外貨建株式口新興国型	短期資金口
手数料上限 （1,000万円以下の部分）	0.600%	0.600%	0.590%	0.450%	0.700%	0.400%	0.750%	0.750%	0.800%	0.500%	0.800%	0.050%
手数料下限 （500億円超 の部分）	0.220%	0.220%	0.210%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

●厚生年金基金保険	総合口	第2総合口	債券総合口	円貨建公社債口	円貨建株式口1・2型	円貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型	外貨建公社債口	外貨建公社債口為替ﾍｯｼﾞ型	外貨建株式口	外貨建株式口ﾊﾟｯｼﾌﾞ型	外貨建株式口新興国型	短期資金口
手数料上限 （10億円以下の部分）	0.440%	0.440%	0.430%	0.330%	0.520%	0.400%	0.550%	0.550%	0.600%	0.500%	0.600%	0.050%
手数料下限 （500億円超 の部分）	0.220%	0.220%	0.210%	0.155%	0.230%	0.110%	0.230%	0.230%	0.240%	0.210%	0.240%	0.050%

※手数料=各口の(経過責任準備金の各ランクに当たる金額×所定手数料率)の合計

※消費税は別途申し受けます。

※上記のほか、資産運用の過程で売買の際に発生する売買委託手数料や、売買委託手数料に関する消費税に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する諸費用を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、売買委託先、売買金額等によって手数料率が変動する等の理由から、これらの計算方法は表示しておりません。

※運用効率の観点等から投資信託による運用を行う場合、投資信託に係る信託報酬を運用費用の一部として間接的にご負担いただきます。なお、信託報酬については投資信託の運用会社や投資対象資産によって手数料率が異なる等の理由から、計算方法を表示しておりません。ただし、第2総合口および債券総合口における私募投資信託の手数料については、「ご契約のしおり」をご覧願います。

※上記の手数料には、一般勘定（主契約）の付加保険料、制度管理等に係る各種業務委託費、年金数理人費は含まれておりません。

【特別勘定特約　第2総合口の投資対象について】

第2総合口では、リスク分散を高度に行うために新興国国債、新興国株式、REIT（不動産投資信託証券）を投資対象とするため私募投資信託を用いて運用を行います。投資対象の詳細については、「ご契約のしおり」および別途資料にてご案内申しあげます。

【特別勘定特約　債券総合口の投資対象について】

債券総合口では、リスク分散を高度に行うために先進国国債（日本含む）、新興国国債、グローバル社債を投資対象とするため私募投資信託を用いて運用を行います。投資対象の詳細については、「ご契約のしおり」および別途資料にてご案内申しあげます。

【損失発生リスクとその発生理由】

・特別勘定特約は、一般勘定（主契約）の責任準備金（保険料積立金）の一部を特別勘定で運用し、この運用実績を直接、責任準備金（保険料積立金）に反映させる仕組みの商品です。

・特別勘定は、国内外の公社債、株式等を運用対象とするため、「株価の下落」「金利の上昇による債券価格の下落」「円高による外貨建資産価値の下落」等といった投資対象資産の価格下落リスクは責任準備金（保険料積立金）の下落要因となります。資産運用の結果は、その損失も含めてご契約者に帰属します。

・経済情勢や運用成果のいかんにより高い収益を期待できる反面、元本（特別勘定に投入された保険料の合計額）の保証はなく、運用実績が元本を下回ることがあり、損失を生じる可能性があります。

【ご留意事項】

・特別勘定における資産運用の成果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

・特別勘定での運用にあたっては、ご契約者が特別勘定の特徴を十分理解した上で、ご契約者の判断と責任において行わなければなりません。

第一生命保険株式会社
東京都千代田区有楽町1－13－1
電話 03（3216）1211（大代表）